

平成28年5月の鉱工業活動
図表集

平成28年7月13日

経済解析室

URL : <http://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result-1.html>

平成28年5月の鉱工業指数(確報)各指数の状況

生産・出荷・在庫・在庫率指数

月次	生産	出荷	在庫	在庫率
季調済指数	94.7	93.5	113.9	117.8
前月比	▲ 2.6%	▲ 2.6%	0.4%	1.8%
指数水準	H28. 2 93. 2以来 ①H21. 2 76. 6 ②H21. 3 77. 6 ③H21. 4 81. 0	H28. 2 92. 8以来 ①H21. 2 79. 2 ②H21. 3 79. 7 ③H21. 4 80. 7	H28. 3 115. 4以来 I H20. 12 119. 8 II H21. 1 119. 5 III H20. 11 119. 1	H28. 3 118. 3以来 I H21. 2 155. 6 II H21. 1 150. 2 III H21. 3 146. 3
前月比の動き	3か月ぶり▲ (H28.2以来)	3か月ぶり▲ (H28.2以来)	2か月ぶり+ (H28.3以来)	2か月ぶり+ (H28.3以来)
前月比幅	H28. 2 ▲5. 2%以来 ①H23. 3 ▲16. 5% ②H21. 1 ▲8. 8% ③H21. 2 ▲8. 6%	H28. 2 ▲4. 1%以来 ①H23. 3 ▲15. 7% ②H21. 1 ▲9. 5% ③H20. 12 ▲7. 1%	H28. 3 2. 9%以来 I H23. 5 4. 7% II H28. 3 2. 9% III H24. 3 2. 5%	H28. 3 3. 3%以来 I H20. 11 13. 2% II H20. 12 9. 9% III H21. 1 9. 8%
前年同月比(原指数)	▲ 0.4%	▲ 1.0%	0.8%	2.6%
前年同月比の動き	2か月連続▲ (H28.4～当月)	6か月連続▲ (H27.12～当月)	3か月連続+ (H28.3～当月)	6か月連続+ (H27.12～当月)
前年同月比幅	H28. 4 ▲3. 3%以来 ①H21. 2 ▲37. 2% ②H21. 3 ▲32. 7% ③H21. 4 ▲30. 0%	H28. 4 ▲3. 4%以来 ①H21. 2 ▲36. 1% ②H21. 3 ▲32. 1% ③H21. 1 ▲30. 9%	H28. 3 1. 8%以来 I H24. 3, 4 12. 1% II H23. 8 9. 0% III H23. 9 8. 1%	H28. 3 3. 8%以来 I H21. 2 64. 6% II H21. 1 54. 8% III H21. 3 47. 9%

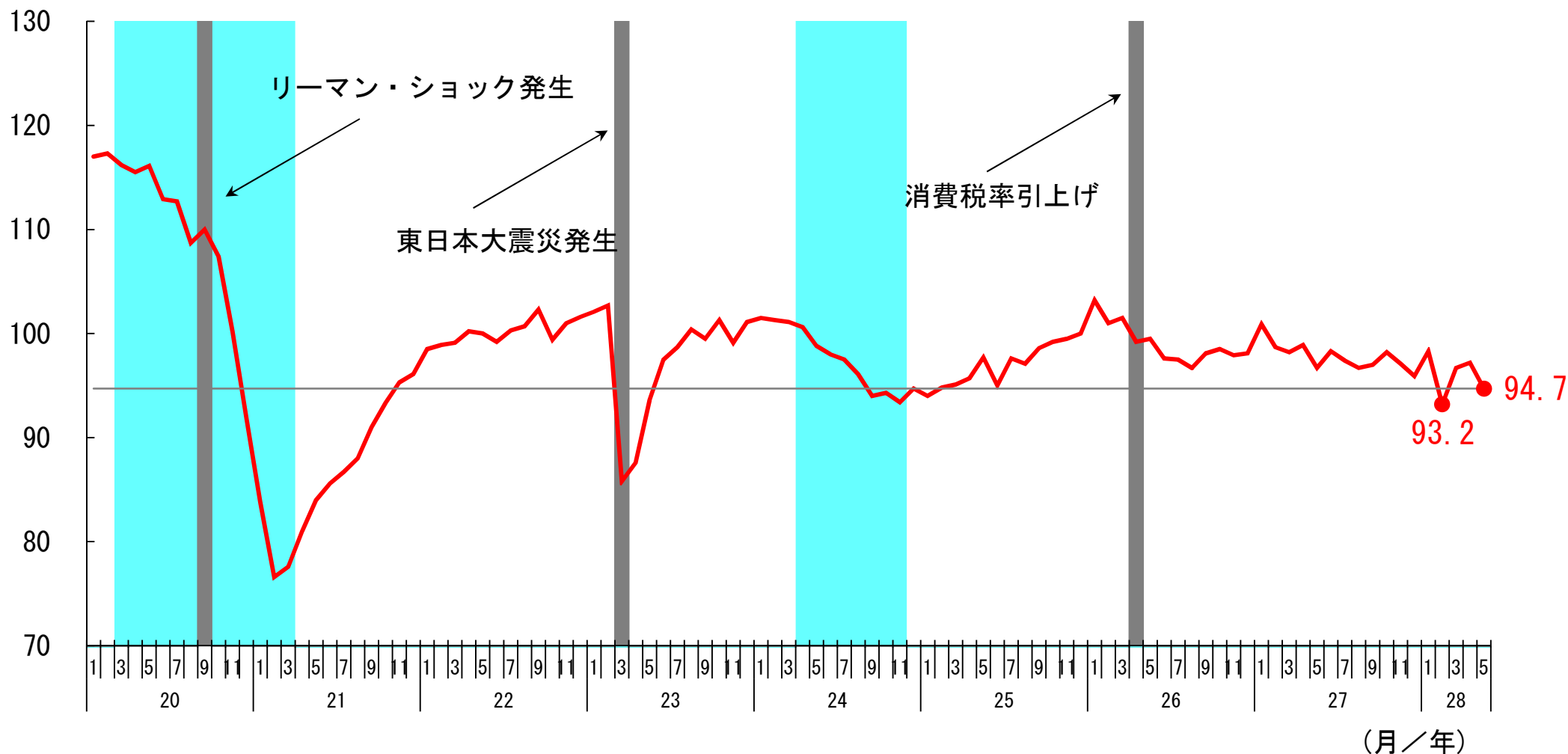
1) ▲はマイナス

2) I～Ⅲは22年基準における最大値から上位3位まで、①～③は最小値から下位3位までの数値

鉱工業生産指数の動向

- ・平成28年5月の鉱工業生産指数は94.7(前月比▲2.6%)と3か月ぶりの低下。
- ・平成28年2月の93.2以来の指数水準。

(22年=100、季節調整済)



(注)1. 鉱工業指数(IIP)とは、月々の鉱工業の生産、出荷、在庫等を基準年(現在は平成22年)の12か月平均=100として指数化したもので、事業所の生産活動、製品の需給動向など鉱工業全体の動きを示す代表的な指標。
2. 水色のシャドー部分は景気後退局面。

平成28年5月の鉱工業生産指数を大きく動かした品目（業種別）

		業種・品目名	前月比	寄与率
鉱工業生産を上昇方向へ引っ張った3業種の中で上昇への影響度が大きい2品目	1位の業種	輸送機械工業	0.8%	6.1%
	品目	船舶・同機関	2.4%	1.2%
		鉄道車両	24.8%	1.1%
	2位の業種	情報通信機械工業	4.3%	4.2%
	品目	電子計算機	29.8%	11.1%
		その他の情報通信機械	16.0%	1.1%
3位の業種	石油・石炭製品工業	3.4%	2.2%	
品目	石油製品	3.5%	2.2%	
	石炭製品	1.0%	0.0%	
鉱工業生産を低下方向へ引っ張った3業種の中で低下への影響度が大きい2品目	1位の業種	化学工業	▲ 6.1%	▲ 31.2%
	品目	化粧品	▲ 8.5%	▲ 10.4%
		有機薬品	▲ 11.6%	▲ 5.3%
	2位の業種	はん用・生産用・業務用機械工業	▲ 2.6%	▲ 14.8%
	品目	土木建設機械	▲ 9.5%	▲ 6.4%
		生活関連産業用機械	▲ 20.5%	▲ 5.2%
3位の業種	食料品・たばこ工業	▲ 4.5%	▲ 11.8%	
品目	酒類	▲ 15.3%	▲ 9.8%	
	清涼飲料	▲ 2.8%	▲ 2.3%	

寄与率：生産全体の変動に対して影響を及ぼした、各品目の影響の度合い。全93業種の寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら▲100%になる。

平成28年5月の鉱工業生産指数を大きく動かした品目（全体・財別）

<全体>

		品目名	前月比	寄与率
鉱工業生産を 上昇 方向 に引っ張った3品目	1位	半導体・フラットパネル製造装置	40.5%	26.9%
	2位	電子計算機	29.8%	11.1%
	3位	石油製品	3.5%	2.2%
鉱工業生産を 低下 方向 に引っ張った3品目	1位	集積回路	▲ 9.1%	▲ 10.8%
	2位	化粧品	▲ 8.5%	▲ 10.4%
	3位	酒類	▲ 15.3%	▲ 9.8%

<財別＝用途別>

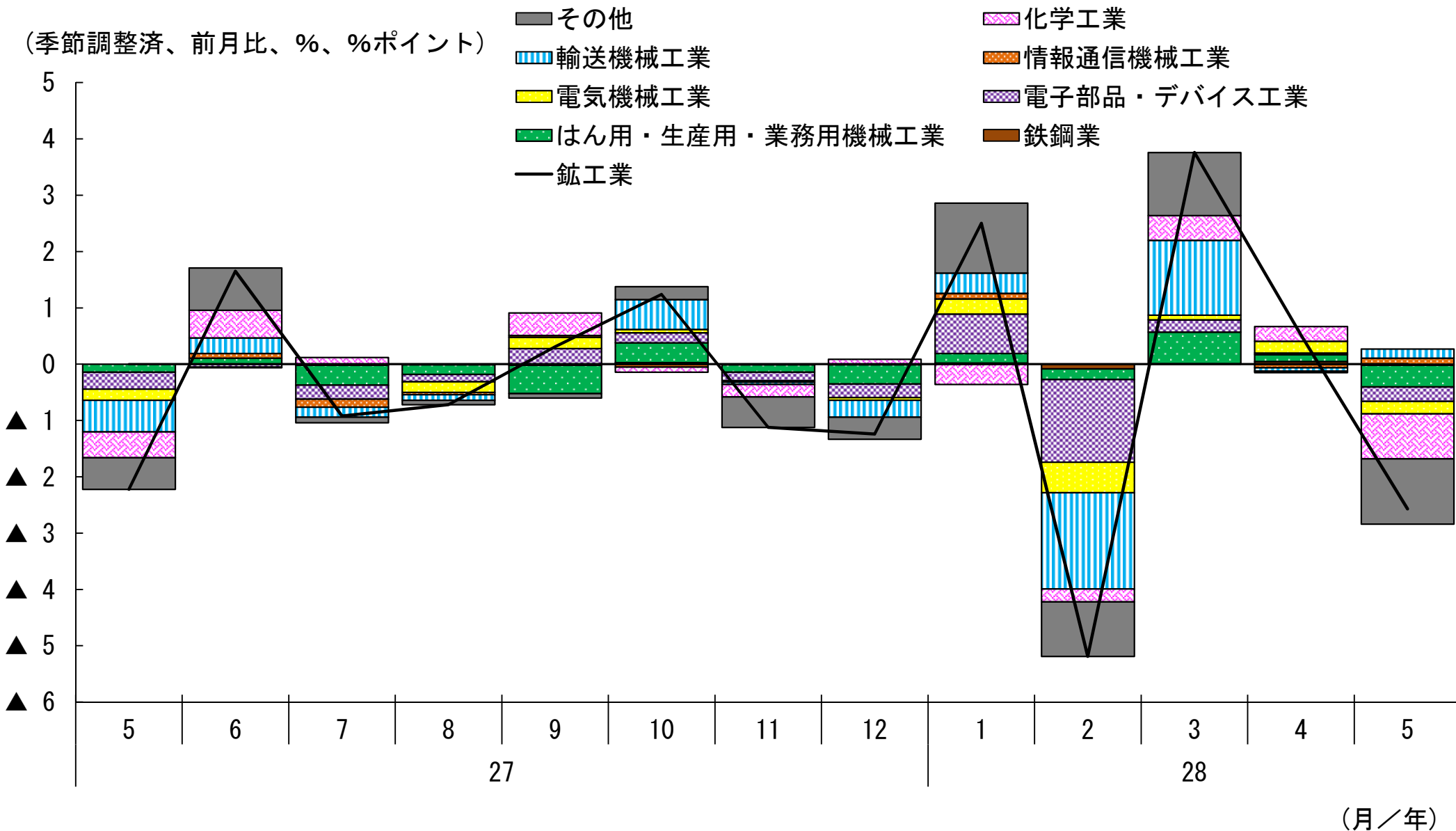
	解説	品目名	前月比	寄与率
生産財	原材料として投入される製品	生産財	▲ 2.9%	▲ 56.6%
		駆動伝導・操縦装置部品	▲ 7.6%	▲ 7.1%
		モス型半導体集積回路（メモリ）	▲ 14.2%	▲ 7.1%
非耐久消費財	食料品や衣料品など 家計で購入される製品	非耐久消費財	▲ 3.7%	▲ 20.9%
		ファンデーション	▲ 19.2%	▲ 3.5%
		洗顔クリーム・フォーム	▲ 20.0%	▲ 1.9%
建設財	鉄骨やセメントなど 建設投資に向けられる製品	建設財	▲ 3.0%	▲ 6.5%
		橋りょう	▲ 26.4%	▲ 4.0%
		システムキッチン	▲ 4.7%	▲ 0.5%
耐久消費財	テレビや電気冷蔵庫など 家計で購入される製品	耐久消費財	▲ 1.3%	▲ 5.3%
		カーナビゲーションシステム	▲ 14.5%	▲ 3.2%
		セパレート形エアコン	▲ 9.5%	▲ 3.2%
資本財 （除. 輸送機械）	クレーンや金属工作機械など 設備投資に向けられる製品	資本財（除. 輸送機械）	0.6%	3.9%
		半導体製造装置	50.3%	24.9%
		デスクトップ型パソコン	109.5%	4.5%

寄与率：生産全体の変動に対して影響を及ぼした、各品目の影響の度合い。全93業種の寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら▲100%になる。

（注）全体の各品目は、個別品目ではなく、個別品目を統合した分類によるもの。

鋁工業生産指数への業種別寄与度分解

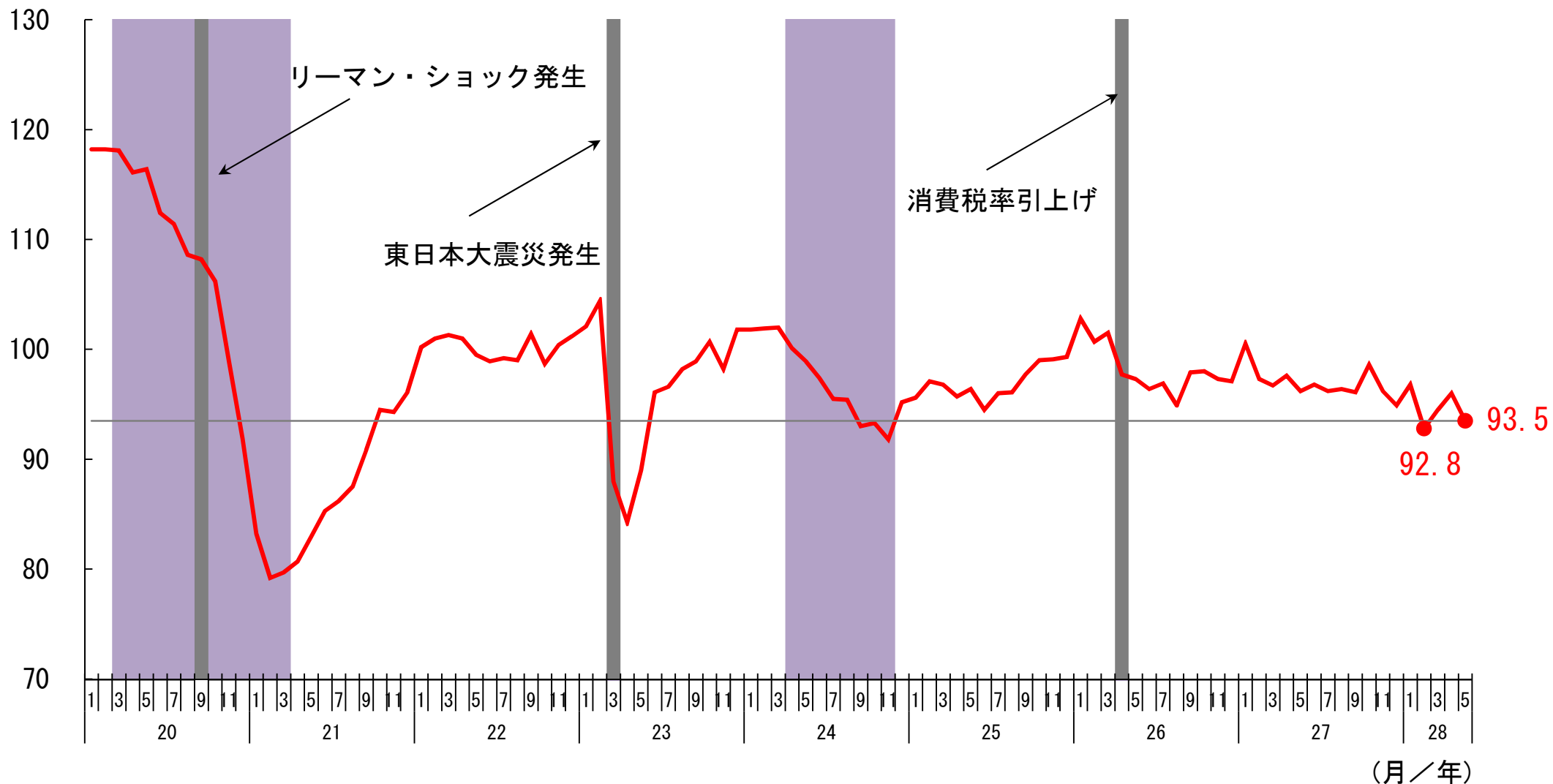
- 平成28年5月の生産指数は輸送機械工業などが上昇したものの、化学工業などが低下したため、前月比▲2.6%の低下。



鉱工業出荷指数の動向

- ・平成28年5月の鉱工業出荷指数は93.5(前月比▲2.6%)と3か月ぶりの低下。
- ・平成28年2月の92.8以来の指数水準。

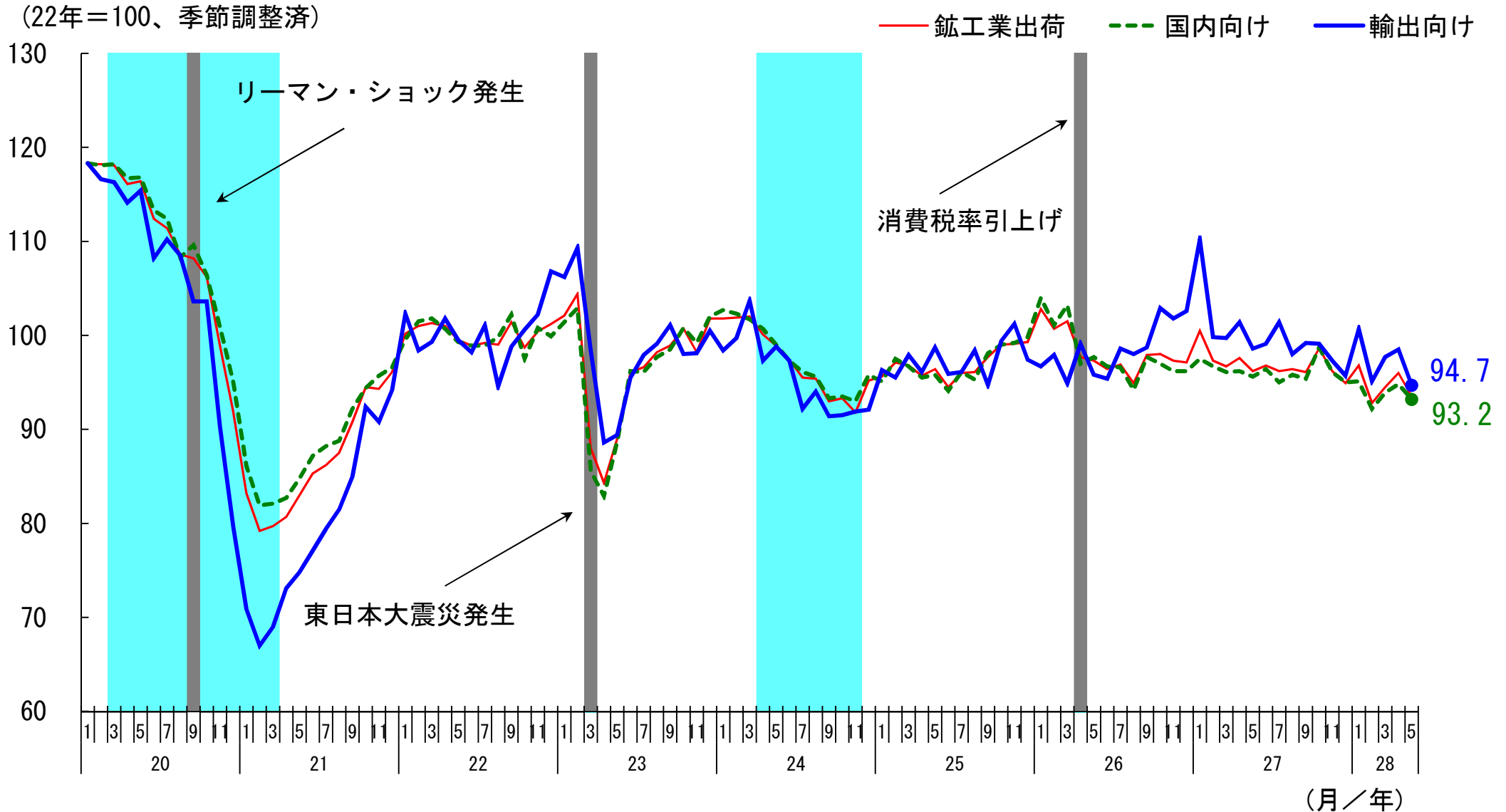
(22年=100、季節調整済)



(注) 紫色のシャド一部分は景気後退局面。

国内向け／輸出向け出荷の動向

・平成28年5月の鉱工業出荷を国内向け／輸出向け別にみると、国内向けは93.2(前月比▲1.7%)と3か月ぶりの低下、輸出向けは94.7(前月比▲3.9%)と3か月ぶりの低下。



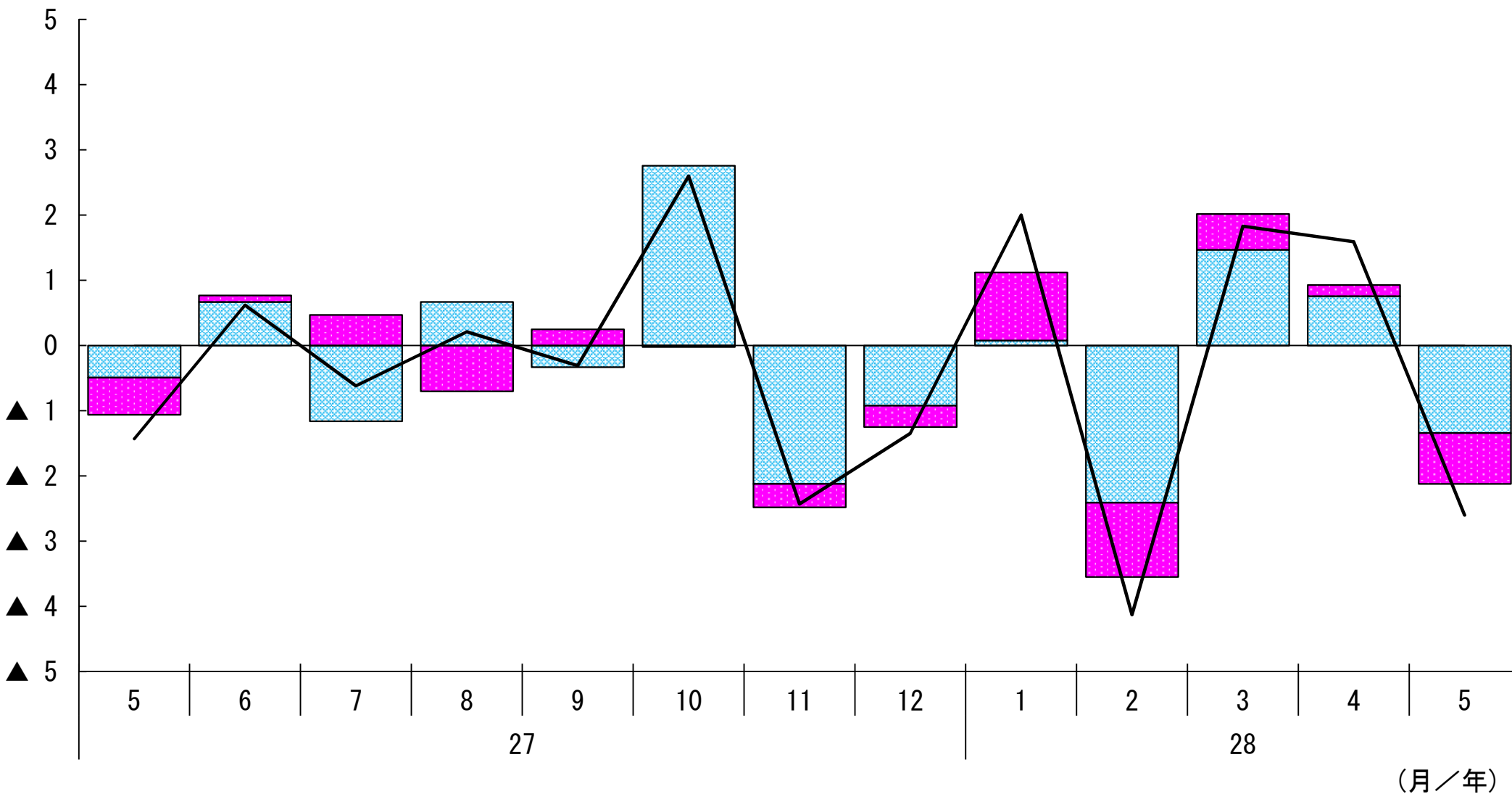
(注) 水色のシャド一部分は景気後退局面。

鋳工業出荷への国内向け／輸出向け別寄与度分解

- 平成28年5月の鋳工業出荷は国内向け、輸出向けともに低下したため、前月比▲2.6%の低下。

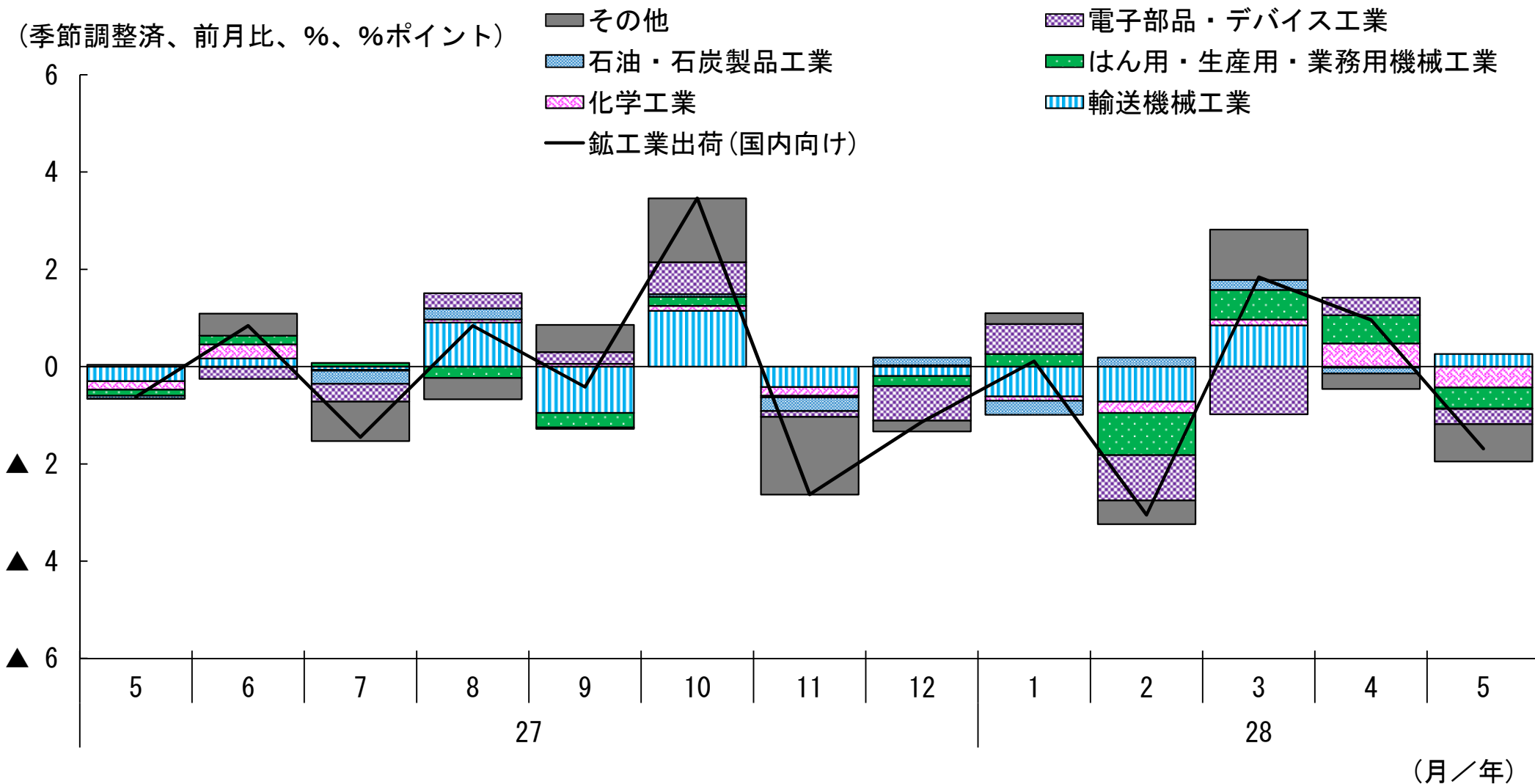
(季節調整済、前月比、%、%ポイント)

■ 輸出向け ■ 国内向け — 鋳工業出荷



国内向け出荷への業種別寄与度分解

- 平成28年5月の国内向け出荷を、主要業種別にみると、輸送機械工業が上昇したものの、化学工業などが低下。

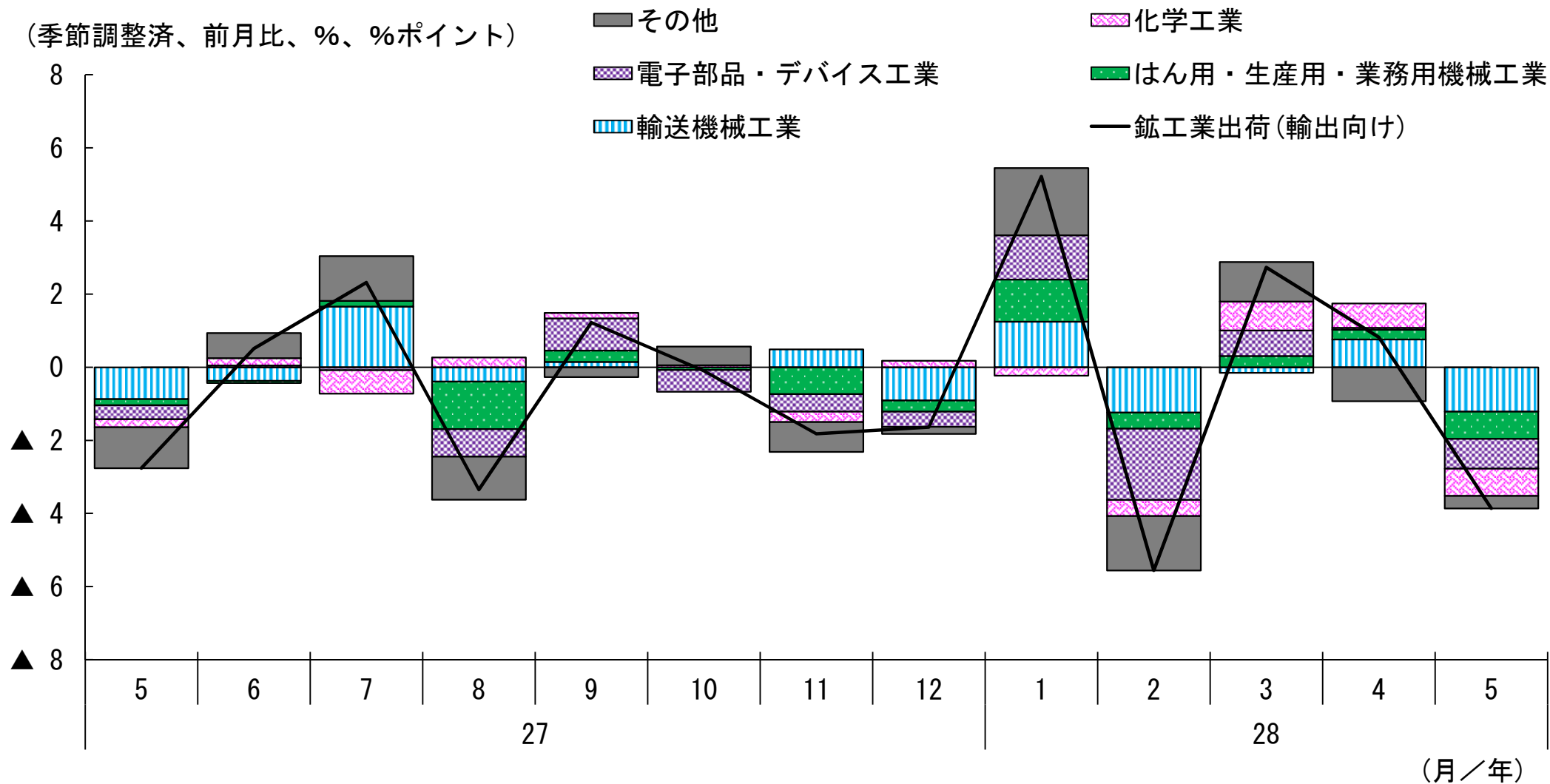


(注)主要業種とは、国内向け出荷(ウエイト8028.51)のうち、ウエイトが大きい5業種を選定。
 具体的には、輸送機械工業(国内向け、ウエイト1658.38)、化学工業(同、同860.84)、はん用・生産用・業務用機械工業(同、同796.12)、石油・石炭製品工業(同、同574.89)、電子部品・デバイス工業(同、同457.59)。

輸出向け出荷への業種別寄与度分解

- 平成28年5月の輸出向け出荷を、主要業種別にみると、輸送機械工業などが低下。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



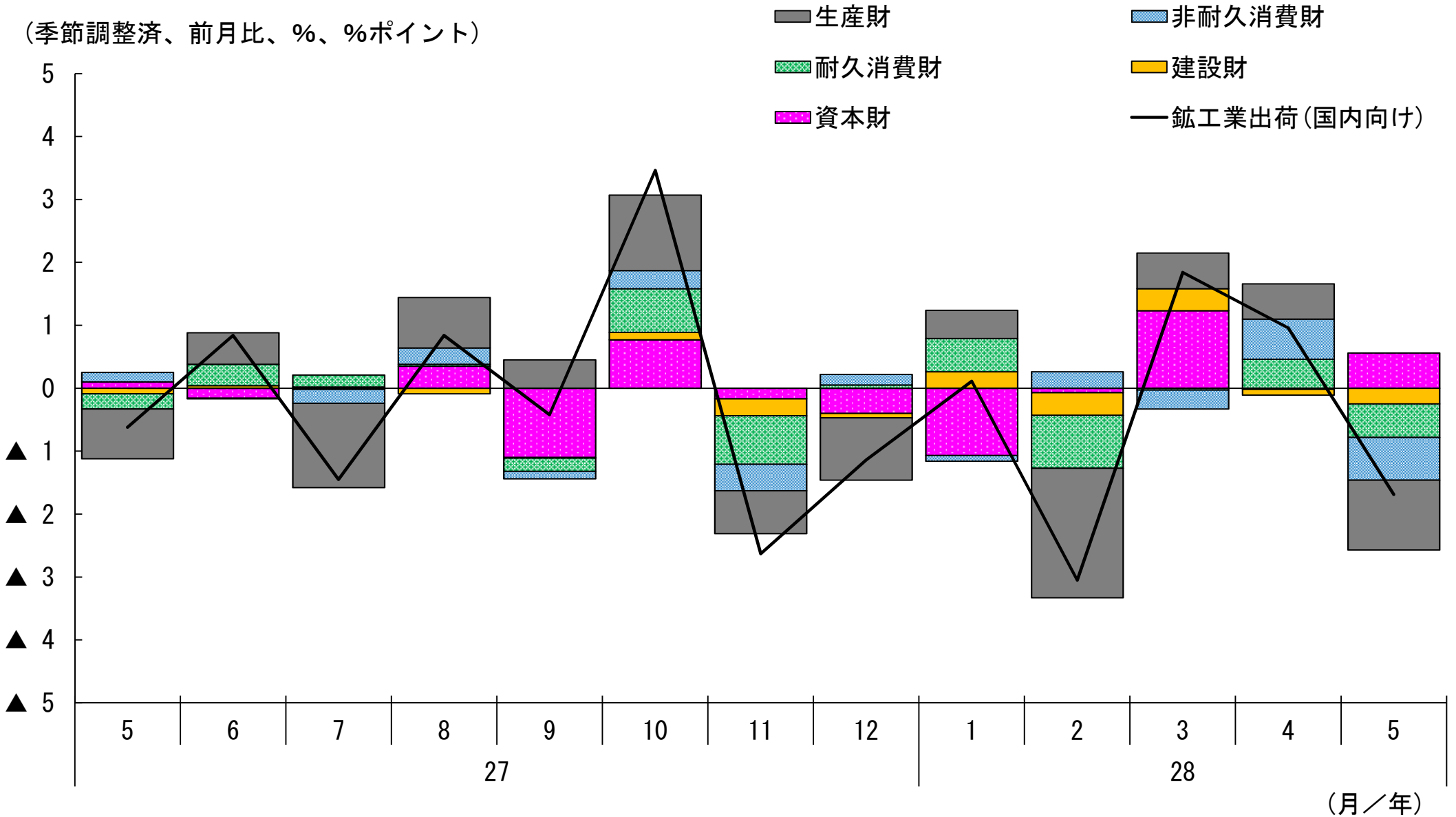
(注)主要業種とは、輸出向け出荷(ウエイト1971.49)のうち、ウエイトが大きい業種(上位4業種)を選定。

具体的には、輸送機械工業(輸出向け、ウエイト560.52)、はん用・生産用・業務用機械工業(同、同289.48)電子部品・デバイス工業(同、同253.51)、化学工業(同、同180.06)の4業種。

国内向け出荷への財別寄与度分解

- 平成28年5月の国内向け出荷を、財別にみると、資本財が上昇したものの、生産財などが低下。

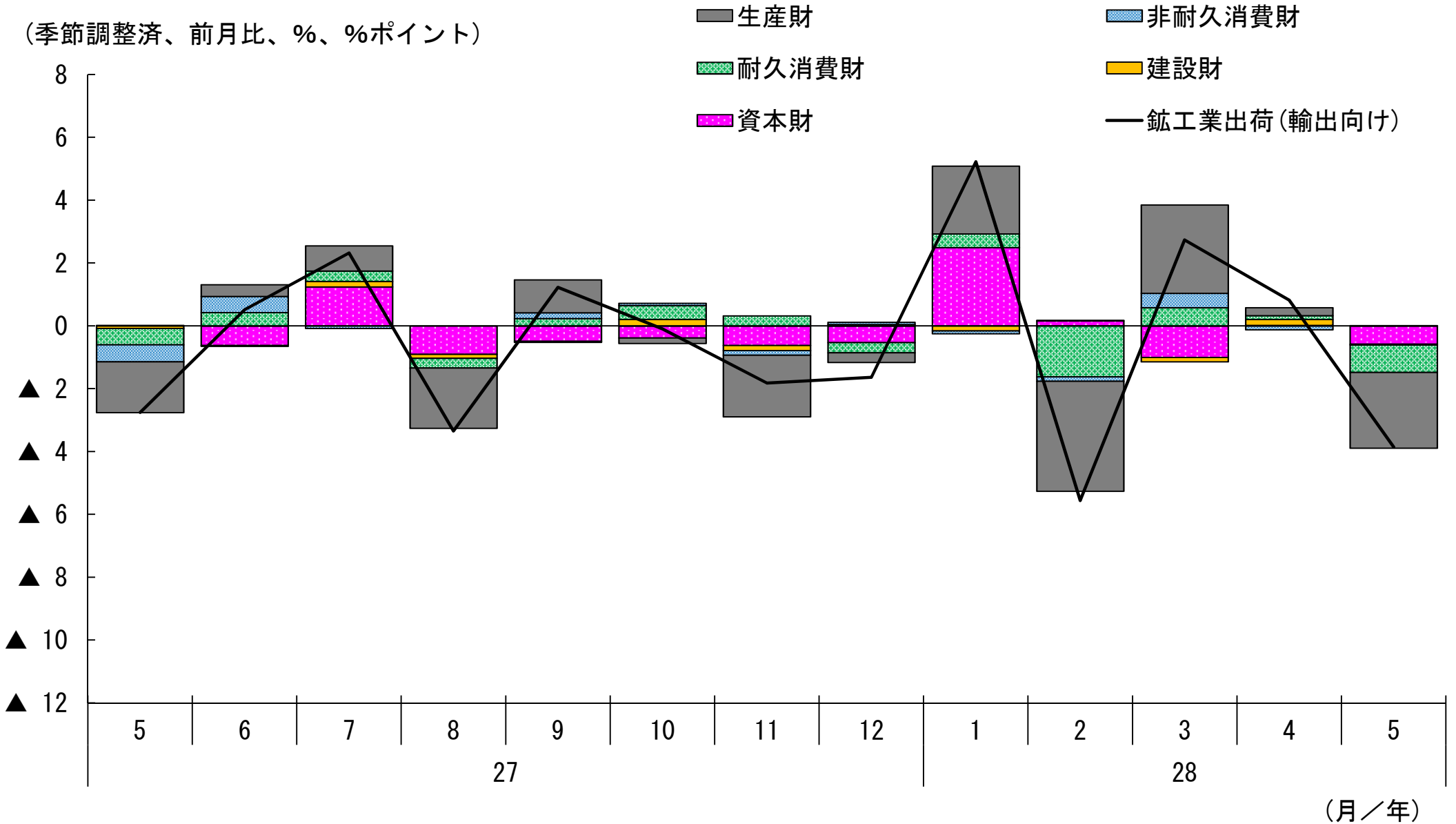
(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



輸出向け出荷への財別寄与度分解

- 平成28年5月の輸出向け出荷を、財別にみると、非耐久消費財が上昇したものの、生産財などが低下。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



平成28年5月の国内向け出荷への財別・業種別の変動寄与

財別分類	前月比(%)	寄与率(%)
鉱工業	▲ 1.7	▲ 51.4
鉱工業用生産財	▲ 2.6	▲ 33.9
電子部品・デバイス工業	▲ 4.9	▲ 9.6
石油・石炭製品工業	▲ 11.0	▲ 4.4
非耐久消費財	▲ 4.6	▲ 20.6
食料品・たばこ工業	▲ 6.8	▲ 13.0
化学工業	▲ 6.3	▲ 9.3
耐久消費財	▲ 4.1	▲ 16.2
輸送機械工業	▲ 4.6	▲ 13.2
情報通信機械工業	▲ 13.8	▲ 6.4
建設財	▲ 3.9	▲ 7.7
金属製品工業	▲ 8.6	▲ 7.4
窯業・土石製品工業	▲ 2.2	▲ 0.7
その他用生産財	0.9	1.4
石油・石炭製品工業	2.6	2.5
鉱業	3.9	0.1
資本財	3.1	17.1
輸送機械工業	7.8	11.4
情報通信機械工業	20.6	5.7

寄与率：出荷全体の変動に対して影響を及ぼした、財別・業種別の影響の度合い。全ての寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら▲100%になる。

(注)試算値。

平成28年5月の輸出向け出荷への財別・業種別の変動寄与

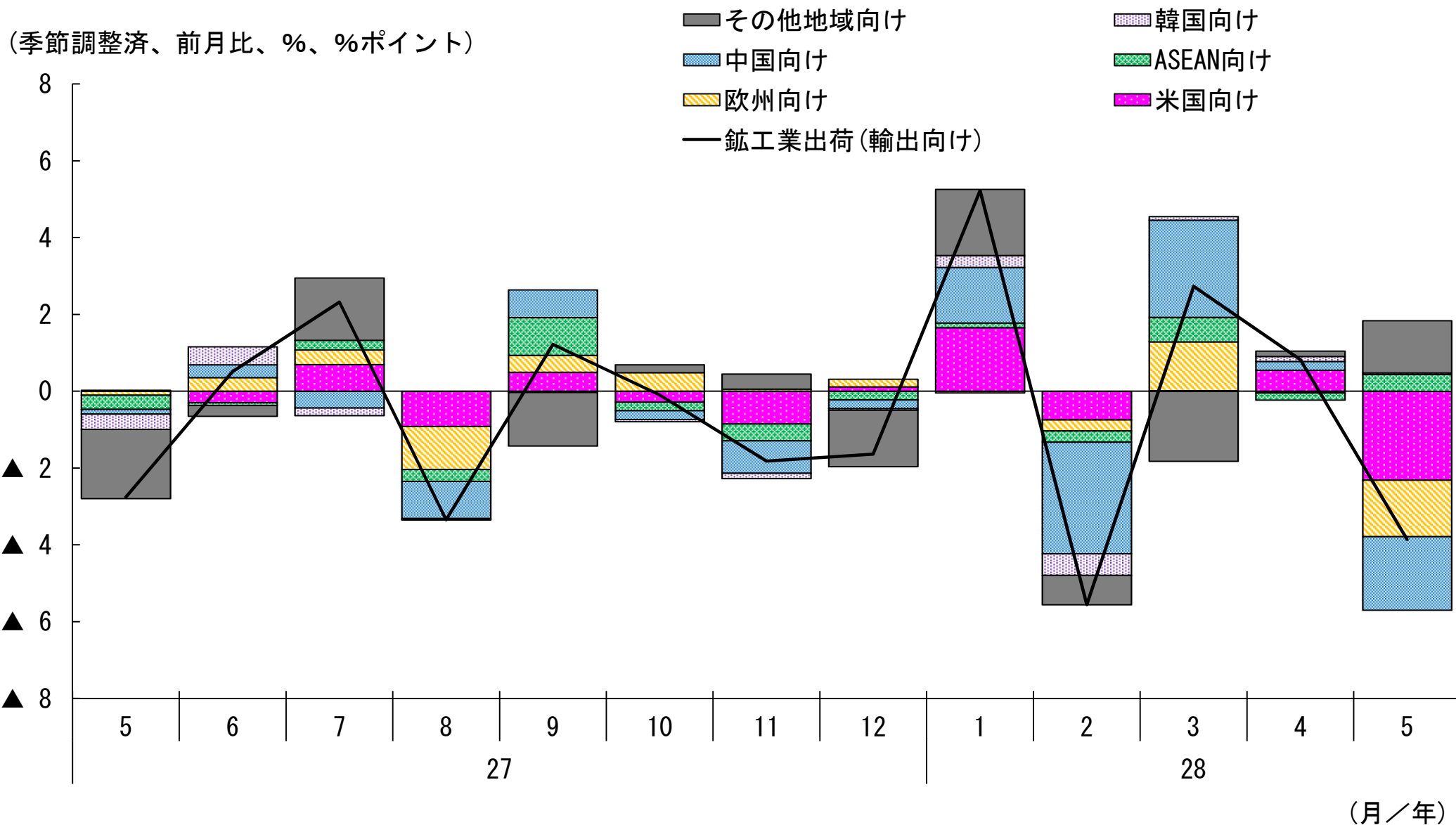
財別分類	前月比(%)	寄与率(%)
鉱工業	▲ 3.9	▲ 30.0
鉱工業用生産財	▲ 4.4	▲ 19.8
電子部品・デバイス工業	▲ 7.0	▲ 6.2
化学工業	▲ 8.1	▲ 5.3
耐久消費財	▲ 6.6	▲ 6.7
輸送機械工業	▲ 5.3	▲ 4.5
情報通信機械工業	▲ 12.7	▲ 0.9
資本財	▲ 2.9	▲ 4.5
はん用・生産用・業務用機械工業	▲ 3.4	▲ 2.9
輸送機械工業	▲ 3.5	▲ 1.6
建設財	▲ 1.7	▲ 0.3
鉄鋼業	▲ 10.5	▲ 0.3
化学工業	▲ 13.0	▲ 0.1
非耐久消費財	0.3	0.1
石油・石炭製品工業	36.8	1.1
パルプ・紙・紙加工品工業	29.0	0.2
その他用生産財	9.0	2.4
石油・石炭製品工業	26.6	3.4
金属製品工業	2.8	0.0

寄与率：出荷全体の変動に対して影響を及ぼした、財別・業種別の影響の度合い。全ての寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら▲100%になる。

(注)試算値。

輸出向け出荷への地域別寄与度分解

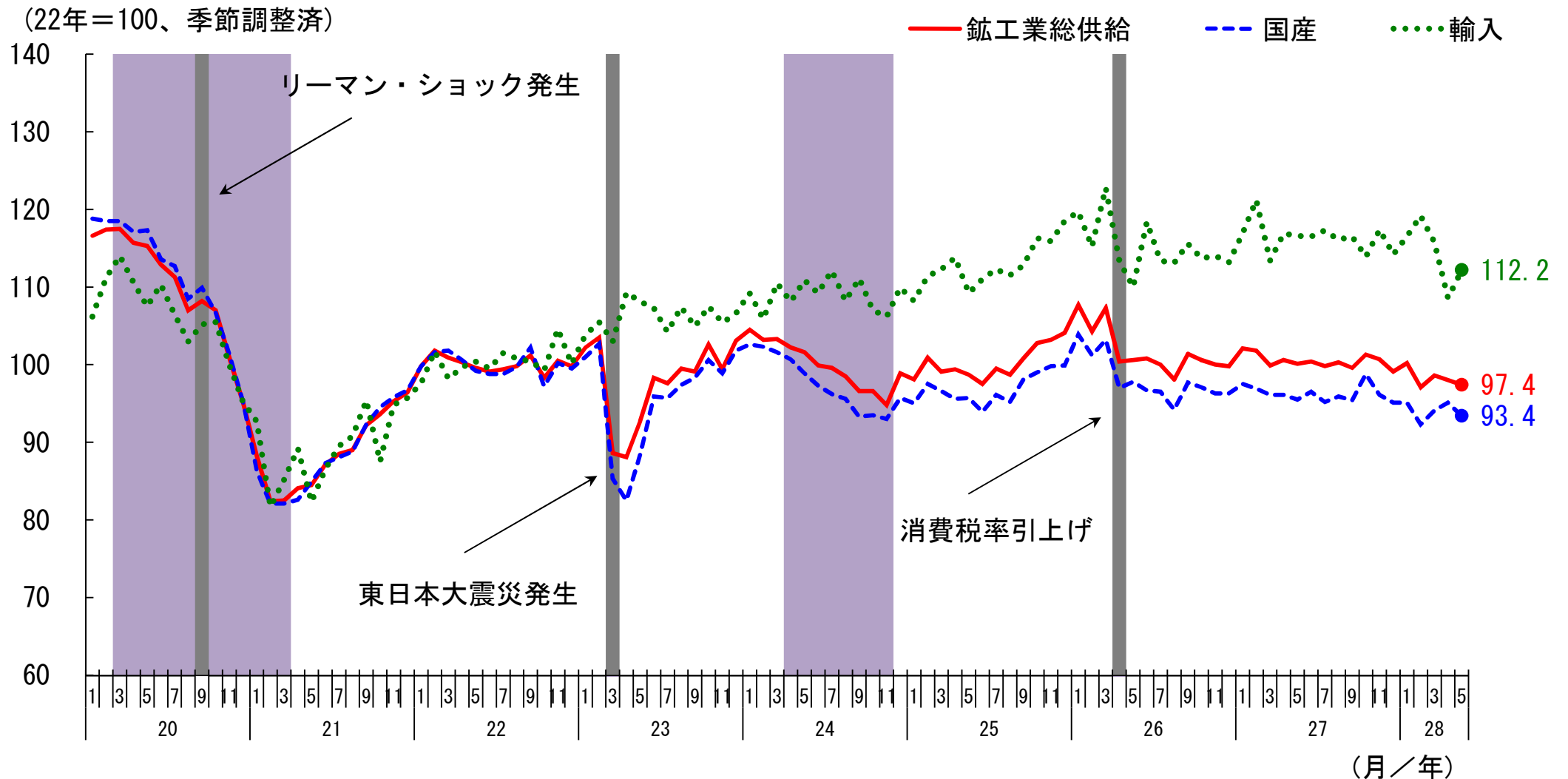
- 平成28年5月の輸出向け出荷を、地域別にみると、その他地域向けなどが上昇したものの、米国向けなどが低下。



(注) 試算値。

鋳工業総供給指数の動向

- ・平成28年5月の鋳工業総供給指数は97.4(前月比▲0.6%)と2か月連続の低下。
- ・内訳をみると、国産は93.4(前月比▲1.8%)と3か月ぶりの低下、輸入は112.2(前月比3.3%)と3か月ぶりの上昇。

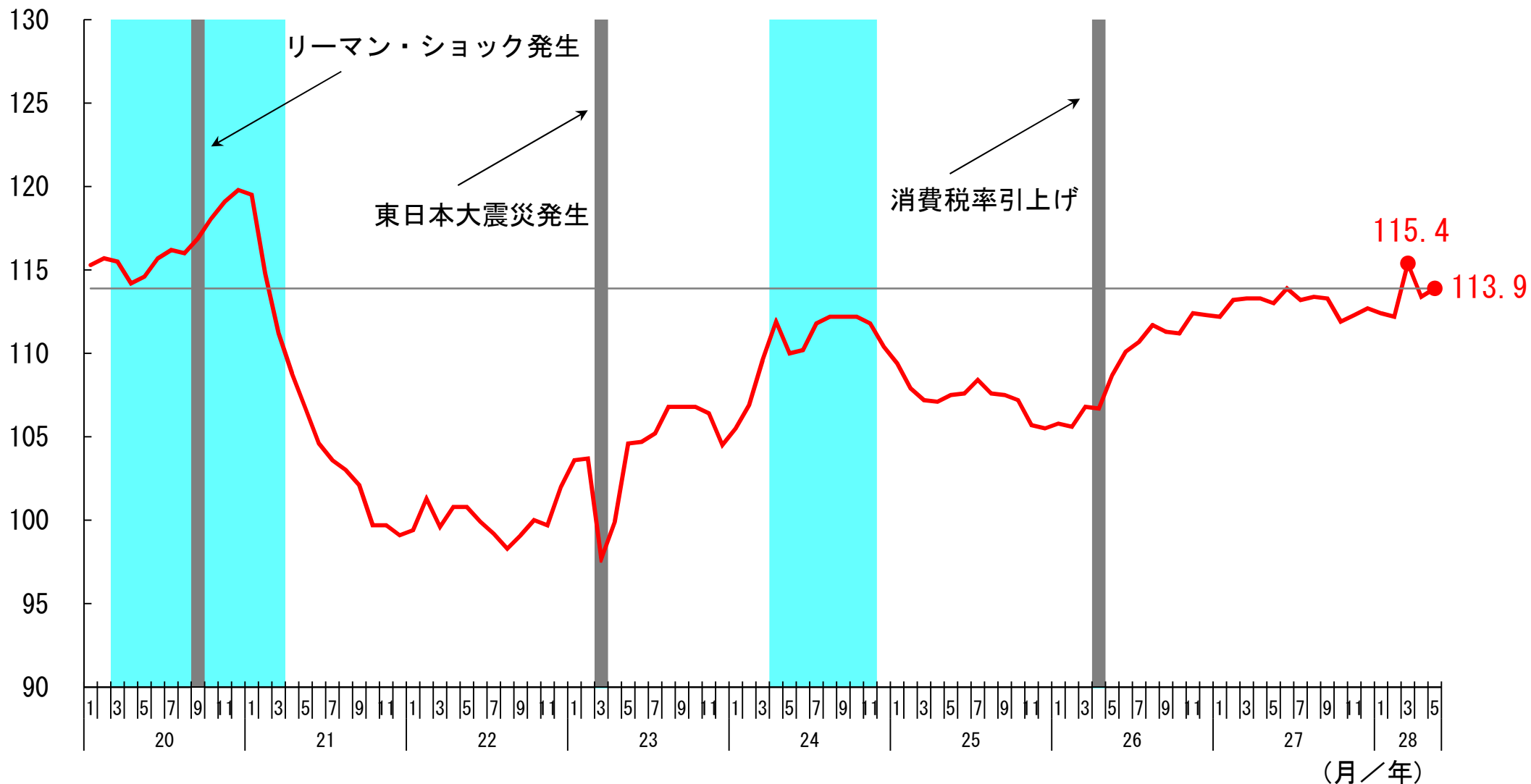


(注) 紫色のシャド一部分は景気後退局面。

鉱工業在庫指数の動向

- ・平成28年5月の在庫指数は113.9(前月比0.4%)と2か月ぶりの上昇。
- ・平成28年3月の115.4以来の指数水準。

(22年=100、季節調整済)

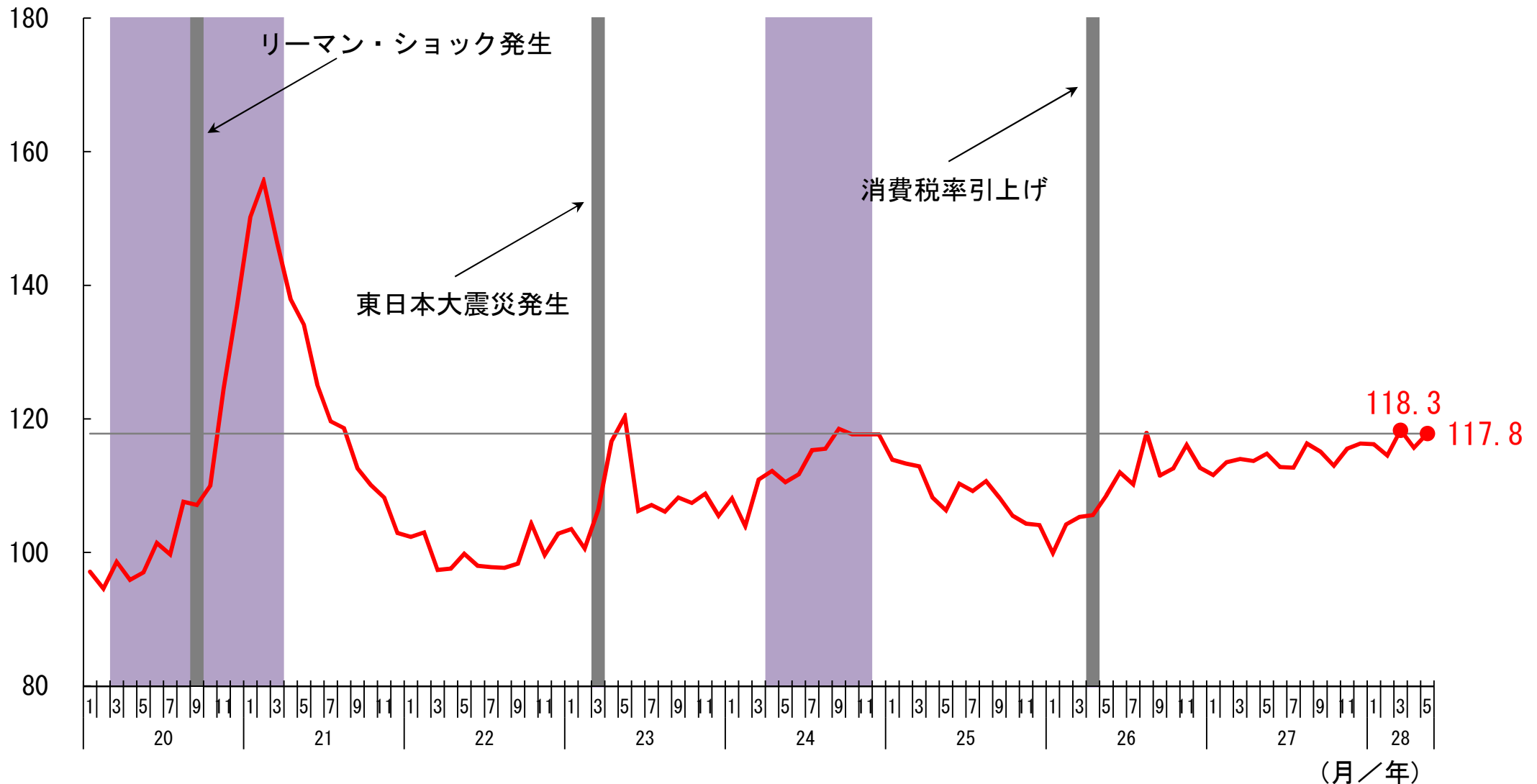


(注)水色のシャド一部分は景気後退局面。

鋳工業在庫率指数の動向

- ・平成28年5月の在庫率指数は117.8(前月比1.8%)と2か月ぶりの上昇。
- ・平成28年3月の118.3以来の指数水準。

(22年=100、季節調整済)



(注) 紫色のシャド一部分は景気後退局面。

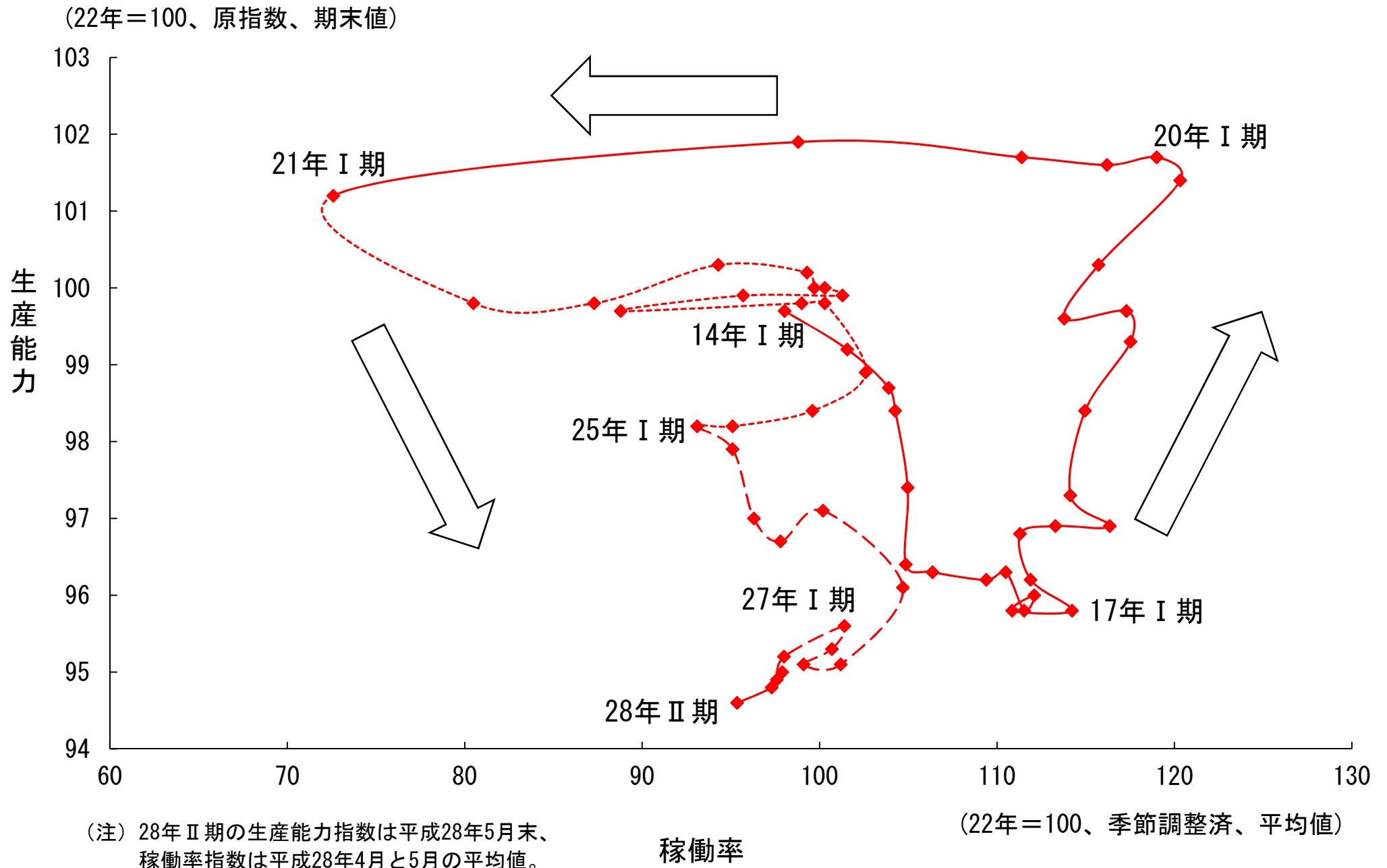
平成28年5月の製造工業稼働率・生産能力指数の状況

月次	稼働率		能力			
	機械工業	非機械工業	機械工業	非機械工業		
季調済指数	94.2	93.2	96.4	94.6 (原指数)	95.7 (原指数)	93.0 (原指数)
前月比	▲ 2.4%	▲ 1.7%	▲ 2.6%	0.0%	0.0%	0.0%
指数水準	H24.12 94.0以来 ①H21.2 69.3 ②H21.3 70.3 ③H21.4 77.2	H28.2 93.0以来 ①H21.2 63.9 ②H21.3 66.4 ③H23.4 69.7	H26.6 95.6以来 ①H21.3 76.8 ②H21.2 77.8 ③H21.1 82.5	—	—	—
前月比の動き	2か月連続▲ (H28.4～当月)	2か月連続▲ (H28.4～当月)	3か月ぶり▲ (H28.2以来)	—	—	—
前月比幅	H28.2 ▲5.4%以来 ①H23.3 ▲21.7% ②H21.1 ▲12.0% ③H21.2 ▲11.3%	H28.4 ▲2.3%以来 ①H23.3 ▲28.6% ②H21.1 ▲15.0% ③H21.2 ▲14.8%	H23.3 ▲10.9%以来 ①H23.3 ▲10.9% ②H21.1 ▲7.9% ③H20.12 ▲7.6%	—	—	—
前年同月比(原指数)	▲ 1.2%	▲ 1.7%	▲ 0.4%	▲ 0.9%	▲ 0.5%	▲ 1.5%
前年同月比の動き	6か月連続▲ (H27.12～当月)	17か月連続▲ (H27.1～当月)	4か月ぶり▲ (H28.1以来)	10か月連続▲ (H27.8～当月)	5か月連続▲ (H28.1～当月)	92か月連続▲ (H20.10～当月)
前年同月比幅	H28.4 ▲4.3%以来 ①H21.2 ▲43.9% ②H21.3 ▲40.5% ③H21.1 ▲35.0%	H28.4 ▲7.5%以来 ①H21.2 ▲50.8% ②H21.3 ▲46.1% ③H21.1 ▲40.7%	H28.1 ▲1.2%以来 ①H21.2 ▲32.0% ②H21.3 ▲30.7% ③H21.1 ▲25.8%	H26.12 ▲1.9%以来 ①H21.7, 8, H26.11 ▲2.1% ②H26.1, 2, 4, 6, 10 ▲2.0% ③H21.9, H26.12 ▲1.9%	H26.12 ▲1.9%以来 ①H21.8 ▲2.7% ②H21.7, H25.7, H26.1, 2 ▲2.6%	H28.4 ▲1.5%以来 (超)H27.3 ▲1.6%以来 ①H22.12, H23.1 ▲2.1% ②H22.9, 11, H23.2, 5, 6, H26.4 ▲2.0%

1) ▲はマイナス

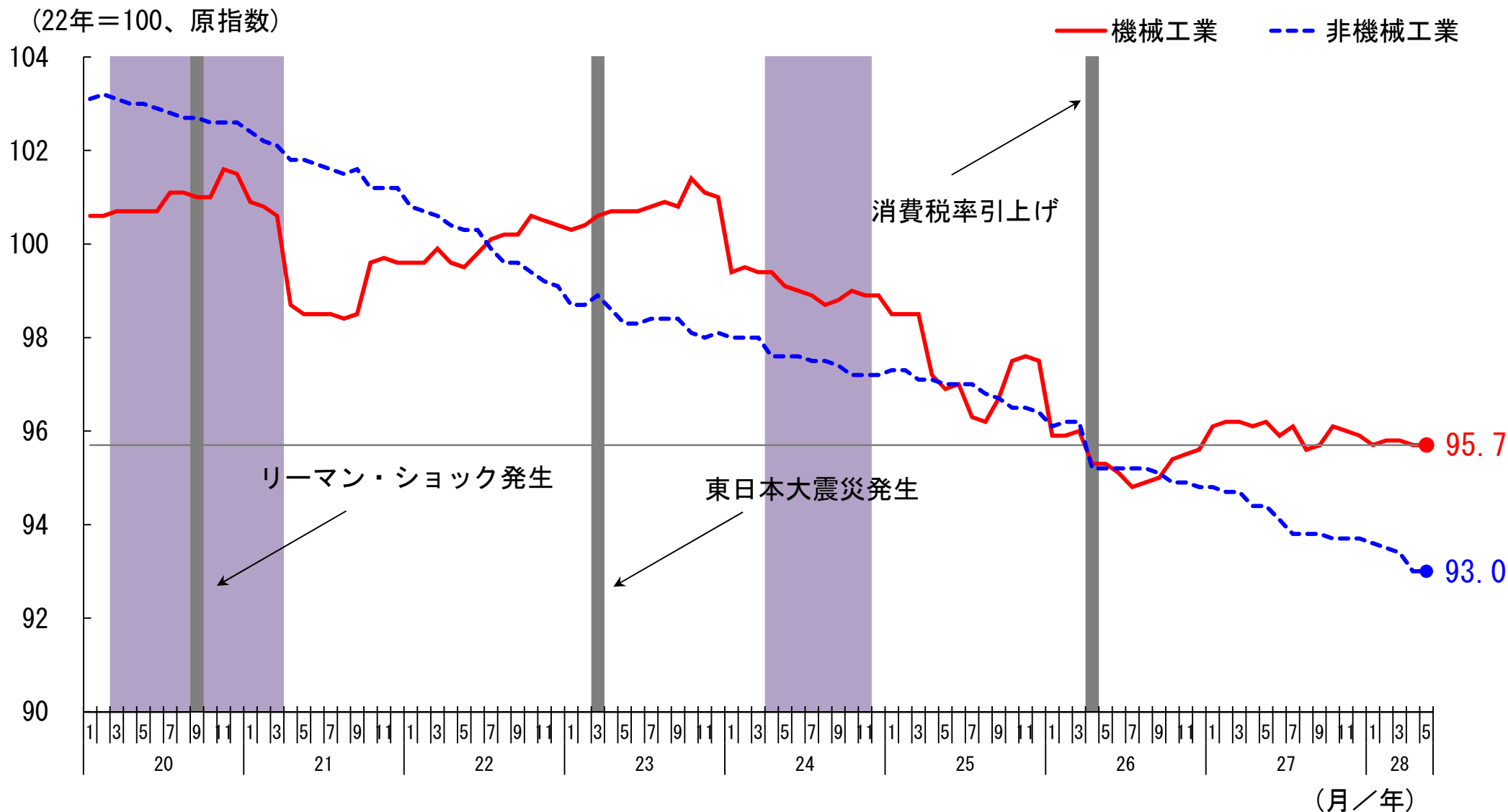
2) I～Ⅲは22年基準における最大値から3位まで、①～③は最小値から3位までの数値

稼働率と生産能力の循環図(製造工業)



機械工業と非機械工業の生産能力指数の動向

- 平成28年5月の機械工業の生産能力指数は95.7(前月比0.0%)と横ばい。
- 非機械工業の生産能力指数は93.0(前月比0.0%)と横ばい。

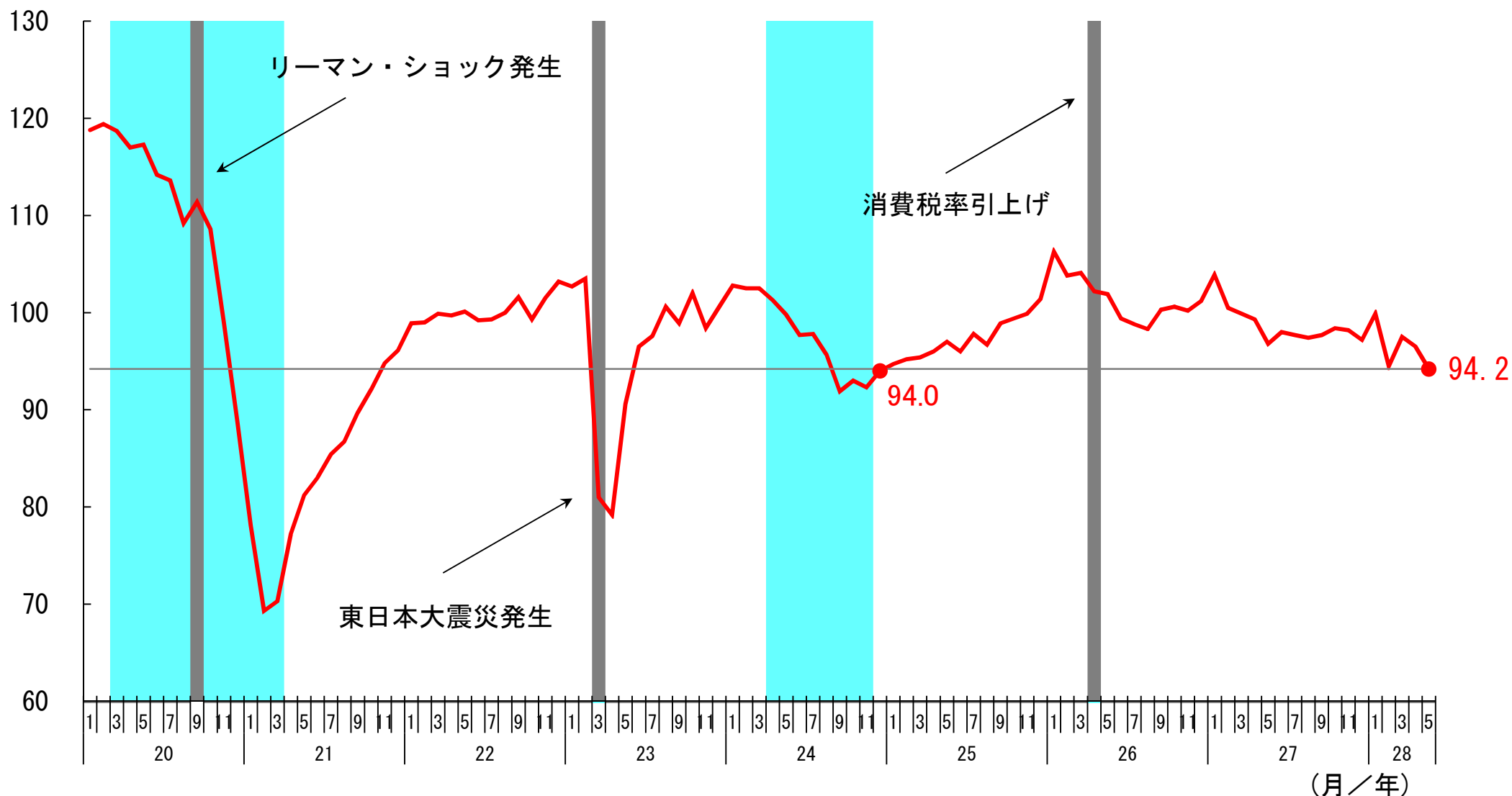


(注) 紫色のシャド一部分は景気後退局面

製造工業稼働率指数の動向

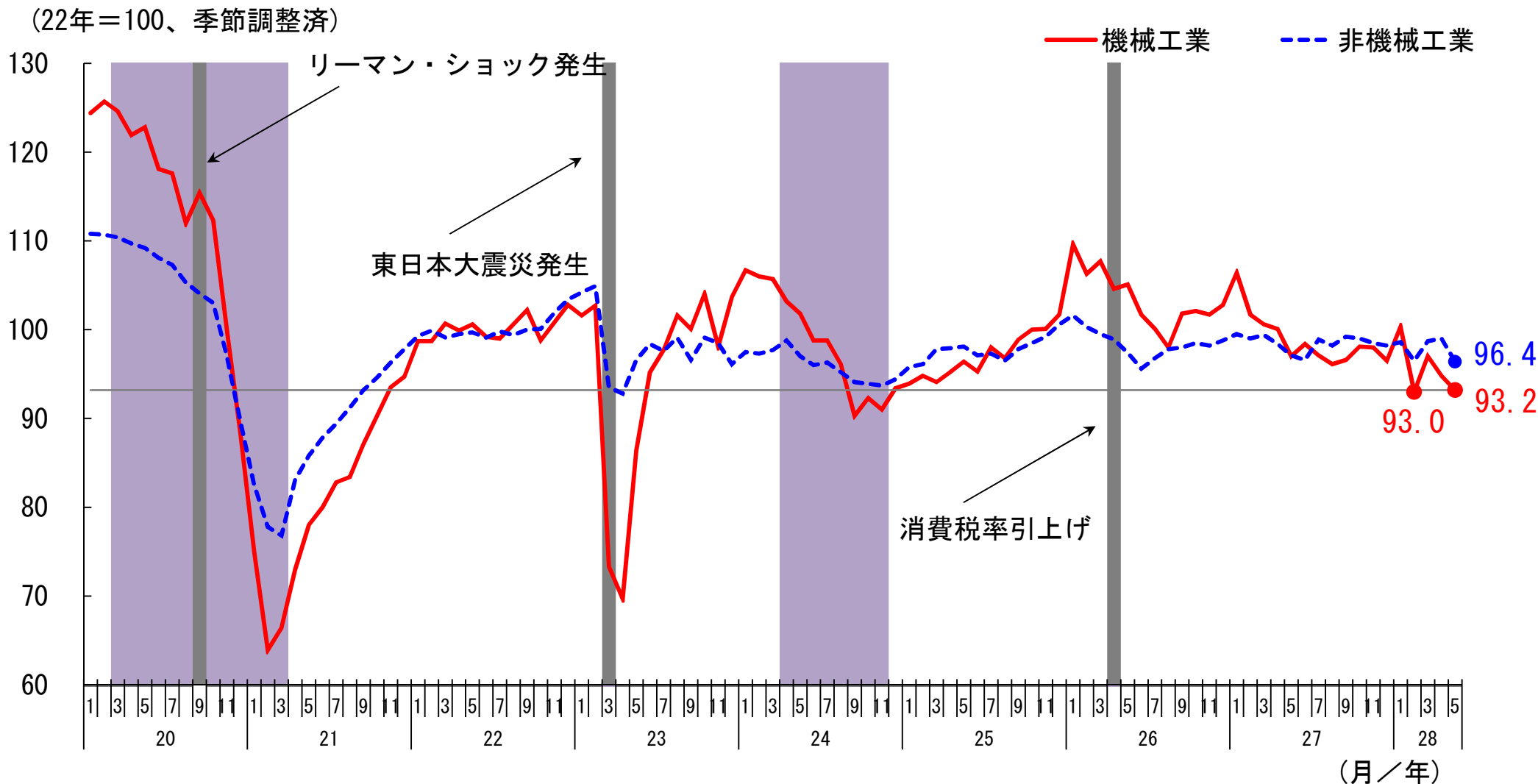
- ・平成28年5月の製造工業稼働率指数は94.2(前月比▲2.4%)と2か月連続の低下。
- ・平成24年12月の94.0以来の指数水準。

(22年=100、季節調整済)



機械工業と非機械工業の稼働率指数の動向

- 平成28年5月の機械工業の稼働率指数は93.2(前月比▲1.7%)と2か月連続の低下。平成28年2月の93.0以来の指数水準。
- 非機械工業の稼働率指数は96.4(前月比▲2.6%)と3か月ぶりの低下。



(注) 紫色のシャド一部分は景気後退局面

製造工業稼働率指数への業種別寄与度分解

- 平成28年5月の製造工業稼働率指数は、輸送機械工業などが上昇したものの、はん用・生産用・業務用機械工業などが低下したため、前月比▲2.4%の低下。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)

